



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月22日

上場取引所 東

上場会社名 アークランドサカモト株式会社
コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 勝司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 堀川 優人

TEL 0256-33-6000

四半期報告書提出予定日 平成22年10月1日 配当支払開始予定日 平成22年10月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	45,332	0.3	3,497	10.4	3,697	8.8	1,956	9.4
22年2月期第2四半期	45,188	—	3,166	—	3,399	—	1,788	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	96.48	—
22年2月期第2四半期	88.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	62,727	35,604	55.0	1,700.54
22年2月期	61,671	33,853	53.2	1,618.91

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 34,487百万円 22年2月期 32,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	15.00	25.00
23年2月期	—	15.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,500	2.4	5,900	4.8	6,300	4.1	3,000	5.8	147.92

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3 2. その他の情報をご覧ください。

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 20,690,843株 22年2月期 20,690,843株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 410,300株 22年2月期 410,195株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 20,280,598株 22年2月期2Q 20,280,765株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年2月21日から平成22年8月20日まで)におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きも見られるものの、企業収益はなお本格的な回復に至らず、依然として雇用・所得環境は改善せず、個人消費が低迷する厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が453億32百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は34億97百万円(前年同期比10.4%増)、経常利益は36億97百万円(前年同期比8.8%増)、四半期純利益は19億56百万円(前年同期比9.4%増)と順調に推移することとなりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は327億14百万円(前年同期比1.1%減)となりました。ホームセンター既存店売上高は7月以降は猛暑効果もあり、順調に推移いたしました。春先より続いた低温の影響による園芸用品等の売上高落ち込みを払拭するには至らず、前年同期比2.1%減と推移したためであります。

その他小売部門の売上高は30億78百万円(前年同期比6.0%増)となりました。7月にオープンしたムサシ食品館長岡店(子会社ランドジャパンが経営)が寄与したことにより。その結果、小売事業の売上高は357億92百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

一方、営業利益については、粗利益率改善と経費圧縮に努めた結果、前年同期比9.6%増の19億58百万円となりました。

<卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高は低迷することとなりました。そのため、卸売事業の売上高は37億97百万円(前年同期比5.6%減)となりました。対して、販管費削減の結果、営業利益は前年同期比4.1%増の5億73百万円となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比6店舗増加したことに加え、「かつや」直営既存店売上高が前年同期比4.2%増となったことにより、売上高が46億27百万円(前年同期比14.4%増)となりました。増収効果に加えて、粗利益率の改善もあって、営業利益は6億26百万円、前年同期比43.9%増の大幅増益となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は11億14百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は3億25百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 連結財政状態の概況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して10億56百万円増加し、627億27百万円となりました。店舗の新設、移転増床に係る設備投資により有形固定資産が増加したことなどが主な要因であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比較して6億94百万円減少し、271億23百万円となりました。支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加した一方で、有利子負債が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して17億50百万円増加し、356億4百万円となりました。これは主に当四半期純利益により、利益剰余金が増加したものであります。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して2億52百万円増加し、22億52百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、45億55百万円(前年同期は61億9百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益35億31百万円、減価償却費11億68百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、18億41百万円(前年同期は0百万円の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、24億61百万円(前年同期は55億84百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純減額7億円、長期借入金の返済による支出13億87百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績は、前回公表(平成22年4月2日)の予想数値を上回って着地することができました。

外食、ホームセンター事業を中心に売上総利益率の改善が寄与したためであります。

一方で、通期の業績予想につきましては、前回公表数値を据え置くことといたしました。

政治・経済をはじめとするマクロ環境の不確実性が非常に高まっているためであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,255	2,003
受取手形及び売掛金	2,425	2,217
商品及び製品	9,832	9,759
その他	1,829	1,823
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	16,339	15,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,424	26,920
土地	7,944	7,895
その他(純額)	1,155	1,089
有形固定資産合計	36,524	35,906
無形固定資産		
のれん	19	32
その他	2,051	2,111
無形固定資産合計	2,070	2,143
投資その他の資産		
投資有価証券	643	613
敷金及び保証金	5,368	5,473
その他	2,286	2,151
貸倒引当金	△505	△418
投資その他の資産合計	7,792	7,819
固定資産合計	46,388	45,869
資産合計	62,727	61,671
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,909	10,332
短期借入金	4,800	5,500
1年内返済予定の長期借入金	2,710	2,774
未払法人税等	1,082	247
賞与引当金	231	188
ポイント引当金	13	14
その他	2,544	2,484
流動負債合計	22,292	21,542
固定負債		
長期借入金	169	1,492
事業再構築引当金	20	37
退職給付引当金	737	703
役員退職慰労引当金	427	427
長期預り保証金	3,392	3,517
その他	83	96
固定負債合計	4,830	6,275
負債合計	27,123	27,817

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	22,050	20,397
自己株式	△637	△637
株主資本合計	34,478	32,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	5
評価・換算差額等合計	8	5
少数株主持分	1,116	1,020
純資産合計	35,604	33,853
負債純資産合計	62,727	61,671

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)
売上高	45,188	45,332
売上原価	30,540	30,241
売上総利益	14,647	15,090
販売費及び一般管理費	11,480	11,593
営業利益	3,166	3,497
営業外収益		
受取利息	16	14
仕入割引	53	52
リベート収入	56	51
持分法による投資利益	53	23
その他	101	78
営業外収益合計	281	219
営業外費用		
支払利息	43	15
その他	5	3
営業外費用合計	49	19
経常利益	3,399	3,697
特別利益		
テナント退店収入	—	102
その他	5	15
特別利益合計	5	117
特別損失		
固定資産売却損	15	13
固定資産除却損	45	116
貸倒引当金繰入額	—	99
商品評価損	122	—
その他	38	53
特別損失合計	221	282
税金等調整前四半期純利益	3,182	3,531
法人税、住民税及び事業税	230	1,031
法人税等調整額	1,088	425
法人税等合計	1,318	1,457
少数株主利益	75	117
四半期純利益	1,788	1,956

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,182	3,531
減価償却費	1,300	1,168
のれん償却額	12	12
受取利息及び受取配当金	△18	△16
支払利息	43	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△234	△207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,079	△72
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,960	577
その他	△595	△243
小計	6,730	4,766
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△38	△13
法人税等の支払額	△589	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,109	4,555
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△465	△1,648
無形固定資産の取得による支出	△22	△26
敷金及び保証金の差入による支出	△144	△236
敷金及び保証金の回収による収入	619	174
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	7	—
その他	6	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	△1,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,860	△700
長期借入金の返済による支出	△2,415	△1,387
配当金の支払額	△202	△304
少数株主への配当金の支払額	△14	△21
その他	△92	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,584	△2,461
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524	252
現金及び現金同等物の期首残高	1,827	2,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,352	2,252

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(平成21年2月21日～平成21年8月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,990	4,024	4,044	1,128	45,188	—	45,188
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,288	—	537	6,825	△6,825	—
計	35,990	10,312	4,044	1,666	52,014	△6,825	45,188
営業利益	1,786	551	435	382	3,155	11	3,166

当第2四半期連結累計期間(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,792	3,797	4,627	1,114	45,332	—	45,332
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,895	—	520	6,415	△6,415	—
計	35,792	9,692	4,627	1,634	51,747	△6,415	45,332
営業利益	1,958	573	626	325	3,484	13	3,497

(注) 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業……………DIY関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業……………DIY用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業……………とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業……………不動産賃貸業

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年8月20日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)		増減		(参考) 平成22年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	4,024	8.9	3,797	8.4	△226	△5.6	7,719	8.8
小売事業	35,990	79.6	35,792	78.9	△197	△0.5	69,025	79.0
ホームセンター部門	33,085	73.2	32,714	72.2	△371	△1.1	63,136	72.3
D I Y関連用品	8,234	18.2	8,205	18.1	△28	△0.4	15,705	18.0
家庭用品	11,151	24.7	11,056	24.4	△95	△0.9	22,948	26.3
カー・レジャー用品	3,784	8.4	3,843	8.5	59	1.6	7,165	8.2
園芸用品	9,725	21.5	9,417	20.8	△308	△3.2	16,984	19.4
その他	189	0.4	190	0.4	1	0.8	332	0.4
その他小売部門	2,904	6.4	3,078	6.7	174	6.0	5,888	6.7
外食事業	4,044	9.0	4,627	10.2	582	14.4	8,361	9.6
不動産事業	1,128	2.5	1,114	2.5	△14	△1.3	2,293	2.6
連結売上高	45,188	100.0	45,332	100.0	143	0.3	87,399	100.0